

Contents

- 2 俺たちもワーカーズ
- 3 大手企業、派遣労働の現場を体験して
- 4 協同労働法制定フォーラム開催

新しいスタート！地域の期待に応えます

この春新しく事業を始めたワーカーズ、どきどきわくわくのオープンです



生協との連携で花開いた憩いの空間
「談話室パンジー」で気軽に
楽しい時間を過ごしてほしい

ワーカーズ・コレクティブ パンジー
狭山市富士見1-11-15 生活クラブ狭山生活館
tel 04-2958-8222

初めまして、4月1日より開業致しました「談話室パンジー」を運営するワーカーズ・コレクティブパンジーです。「談話室パンジー」は生活クラブ生協狭山生活館 2Fにある喫茶室で、私たちは生活館の管理も行います。

30年間生活クラブの組合員の皆さんが大切に使ってこられた施設を今後も気持ちよく使って頂けるよう、そして「談話室パンジー」が、地域の方々の憩いの場となるよう頑張っています。将来的には、談話室でミニコンサート等の楽しいイベントが開けたらいいな、と4人のスタッフで夢を語っています。

営業時間は月～金曜日の 11:00～15:00 です。「森のコーヒー」を丁寧に手淹れしています。近くまでお出かけの節は、どうぞお立ち寄り下さい。お待ちしております！

自治体からの学童事業を受託

「輪っはっは」の笑顔あふれる実践が
地域の親子を支えます

企業組合たすけあい輪っはっは
ワーカーズ・コレクティブはな
所沢市美原町3-2971-5 tel 04-2943-1210

所沢市では、保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学生が、放課後を安心して過ごせる場所を48か所で運営しています。そのうちのひとつがこの4月に開所した「わくわくクラブ」。生協施設の空きスペースを借り、「輪っはっは」が新規事業として1歩を踏み出し運営します。

「輪っはっは」は所沢市近隣の生活サポート事業を始めて11年になります。地域の様々な要請に応え信頼を得ていますが、前年夏休みには地域の皆さんの臨時の学童保育に協力し、今回の事業につながりました。新しいメンバー9人を迎え、学童事業部12名が1月から毎週会議を重ね開業にこぎつけました。子供たちの元気な笑顔に支えられ、「輪っはっは」の温かいサポートをさらに地域に広げていきます。



俺たちもワーカーズ

仲間がいる 働く喜びがある

30年ほど前、生活者目線で地域に必要なものやサービスを作ろうと始まったワーカーズ・コレクティブの担い手は多くが女性でした。近年働き方は大きく変化し、「ワークライフバランス」を求める人々が増えています。また、仕事に生活のためだけではない、やりがいを求める人々も多くなっています。ワーカーズ・コレクティブも男性の参加が増えています。「何のために働くのか…」を追求した結果、ワーカーズ・コレクティブを選んだ男性たちをご紹介します。

やりがいある仕事で 音楽と両立



4年前に音楽の仕事を中心にしていた会社を退職し、生協の安全性確かな食材を組合員宅に届ける業務を行う「ワーカーズ・コレクティブそら」のメンバーになりました。生活クラブ生協には20年ほど前、娘のアトピーをきっかけに加入していました。

初めは女性ばかりの職場ということもあり戸惑いもありましたが、皆さんの丁寧な指導もあり徐々に仕事に馴染めるようになりました。仕事内容も意外に力仕事が多いことに驚きました。実際に女性がトラックを運転して配達をこなしていることに感心しました。「消費材」の管理や扱いにしても組合員さんの事を第一に考えている仕事ぶりを見て正に協同組合が運営しているのだと強く感じました。

社会一般の食品の安全性や信頼が揺らぐ中、早くからその問題に気付き自主基準を厳しく課しながらブレること無く活動を続ける生活クラブ生協、またその一員として仕事ができることにとってもやりがいを感じています。「ワーカーズ・コレクティブそら」に入ってみて気付いたことは、色々な問題や課題をメンバーで話し合いながら決定している事。これは本当に素晴らしいと思うし、世の中の職場でもこのようであつたら良いと思いました。他の職場にはない新しい働き方を発見できました。

企業組合ワーカーズ・コレクティブそら 高橋学



次の目標を持つこともできる 再生の場

私が「ワーカーズ・コレクティブつどい」(現：企業組合つどい)の組合員になったのは11年前です。生協の共同購入に関する業務を受託している事業所です。

つどい設立後間もない時期は自分たちで仕事の仕方を色々工夫していました。「ワーカーズ・コレクティブってこういうもの」と肌で感じたように思います。次第に自分も企画運営やリーダー的なポジションに積極的に携わるようになりました。

現在は「帳合」に所属し、機械を使って生活クラブ生協組合員に配布するカタログやチラシ、申込書をセットする作業を行っています。私は専任機長という役職につき、作業の進み具合や機械の調整などを取り仕切る立場にいます。

ワーカーズ・コレクティブは、社会参加のきっかけとして、ハードルが低いものだと思います。メンバーの中には自分の目標ができて辞めた人もいます。そうした人たちを見送るのは寂しくはありますが、ワーカーズ・コレクティブは再生の場となったのだと思います。帳合の業務は体力が必要で男性が仕事に入りやすい土壌ができています。11年が経ち、ともに働いてきた人たちは私よりも年上が多いので、世代交代は意識しています。ベテランと若手の立ち位置や若い世代が継続して加入し、長く居続けられる環境とはを考えながら、この先も一所懸命にやっていきたいと思っています。

企業組合つどいワーカーズ・コレクティブ帳合
小林真人

この働き方、 若者に知って もらいたい!!



「ワーカーズ・コレクティブわかば」で働き始めて約5年がたちました。生活クラブ生協の配達をする仕事に就いています。

普段の生活では一般企業とワーカーズ・コレクティブの差を感じることはほとんどありませんが、運営面ではワーカーズ・コレクティブで働いていると意識することが多いです。

お金をどのように分配するか、など一般企業では考えられないことが自分たちで決められます。

以前の職場で社長に「あなたの給料は多すぎるから半分にします」なんて言ってみたかったです。

今後、ワーカーズ・コレクティブを規定する法制度が整い、ワーカーズ・コレクティブで起業する人が増えたらいいなと思います。一人で起業できる人もいるのですが、仲間と何かを始めようと思ったとき、だれかを雇用主にするのではなくみんなが平等なワーカーズ・コレクティブのほうが良いと思う若者は多いのではないのでしょうか？

そのためにはメディアにどんどん取り上げてもらえるようにその方法を考えていきたいと思います。

企業組合ワーカーズ・コレクティブわかば

篠原文昭

大手企業、派遣労働の現場を体験して

人は誰かの役にたっている実感を持たたとき幸せを感じるのではないのでしょうか？多くの人は幸せに生きることや、人の役に立つことを、と思い仕事に就いています。しかし、この社会の労働の現場は深刻な問題をはらんでいます。

大手企業で仕事をした、派遣労働を体験した人が小さなワーカーズ・コレクティブで充実感を得ている実態がここにあります。

企業利益のために働き、体調を崩し「むすび」の起業メンバーに

子供には食べさせられない食を作り続け…

私の前職は、レストランや給食事業を展開する大手企業でした。

ある会社の社員食堂で調理を担当していました。アルバイトで入社した当初から、食材は安心できるものを使いたいと考えていましたが、会社では化学調味料、保存料、輸入食材など、当たり前前に使用していました。

あげるべき利益と商品の売値が決められている中で、さらにコストを下げるために、食材の質を下げ、人員を削減していました。

子供には食べさせられないと思いながら、与えられた仕事をこなす毎日でした。生活を安定させるため、契約社員、正社員と昇格するまで、とまかく頑張るしかありませんでした。

正社員への昇格がようやく見えてきた時、私は仕事に倒れ、入院、手術しました。過労とストレスで体重は平常時から13キロ減っていました。結局、退社して自宅療養することになり、これからどんな仕事ができるのか、雇われる以外に働く方法はあるかなど、様々考えました。このときに、埼玉県障害者交流センター内にレストランを開くという呼びかけがあり、ワーカーズ・コレクティブを知りました。

仕事の喜びを取り戻す

話し合いをして皆で決める、仕事場を作る、安心できる食材で、こうだと思えるサービスを実現できるとしたら素晴らしいことだと思い参加しました。

「むすび食堂」を開業して、今ではお客様に理解も得られつつあると思います。お客様とのつながりもできています。店で子供に食事をさせられたときは嬉しかったです。素直に「どうぞ」と食事を出せるというのは喜びです。

それでも、経営、売り上げの問題はやはりあります。小学生の子供を持つ身としては不安は拭えません。

今は生協の配送を担うワーカーズと掛け持ちで仕事をしています。配送先で、食材や暮らし方に同じように関心を持つ組合員さんと話をするのは心強くもあり、勉強になっています。

一般社団法人ワーカーズ・コレクティブむすび

としゃ
稲見稔也



むすび食堂店内

お弁当の配達も行う

「派遣さん！」…ちゃんと名前があるのに派遣労働の問題

いわれなき偏見に耐えた末、解雇に

都内にある M 大学の産休育休の代替えとして 2 年ほど派遣で働いていました。派遣労働をするためには、派遣会社に登録する必要があります。ここでは契約更新があること、当初次の仕事もあると伝えられていました。

仕事は主にパンフレットの校正や電話対応、HP の更新などでした。ここでは派遣と嘱託職員 3 人がお茶当番をやり、全員のコップを洗っていました。ある時 20 代の女性職員が「コップを洗うのは低所得者がやればいい！」と言い放ちました。また他

の部署に勤務した時には、男性職員が「派遣さん」と言ってきました。ちゃんと名前があるのに…と思いました。

2年を過ぎたころ、突然大学側から「契約はここまで」と告げられました。いわゆる解雇です。30代で未婚の私に「まだ未婚ですよ」「少子化対策もあると思います」「新卒を雇いたい」と言われ耳を疑いました。

配置転換や派遣切りはある日突然言い渡され、信じがたい、いわれのない差別を受けつらい日々でした。

必要とされている実感

青いそらに加入し、3年がたとうとしています。ここではみんなが経営もする、多くの仕事を役割分担してみんなで担います。メニューの考案を任せられたり、自ら考え、自ら作ったものが商品としてお客様の前に出ていきます。一人一人が達成感をもって働ける他にはない働き方だと思います。私も必要とされ、人の役に立てているのだという実感があります。

30代から60代の方がともに働いていますが、世代にわけ隔てなく経営について意見交換したり、おいしいものを提供する為に一緒に考えていけたらと思います。ずっとつながりを持っていきたいと思っています。

NPO法人ワーカーズ・コレクティブ青いそら T

協同労働法制定フォーラム開催 この働き方で未来をひらく



2/3所沢ミューズでのフォーラムの様子 事例報告（ワーカーズ・コレクティブま・た・ね）

2017年11月 三郷文化会館 60名参加

2018年 2月 所沢ミューズ 80名参加

2018年 4月 さいたま市民会館おおみや 600名参加

貧困、格差の広がりや地域経済の疲弊、超高齢社会などの課題に対して、今切実に求められている協同労働の法制化。実現を期待し、その意義を伝える集会在埼玉県内3カ所で開かれました。

3カ所のフォーラムでは法制化の内容や進捗状況が報告され、それぞれの会場でトークセッション、地域の事例報告、参加者によるディスカッションなど多彩なプログラムが実行されました。

法制化については、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパンと労働者協同組合に数回のヒアリングが行われ、現在法制局にて骨子素案が作成されている。内容では、ワーカーズメンバーを「出資する労働者」と位置づけ、「経営者」という記述はしない。届け出れば認められる準則主義により設立され、税制優遇措置はない。などの報告がありました。

大宮会場のトークセッションでは自由の森学園代表の菅間正道さんが、働くことに対して過労死かストリートライフへの道しかないというイメージを抱いている子供がいる。そのような社会をかえるためにも、協同労働の法制化は必要であり、若い人が希望を持って社会に出ていけるようにしていきたい、と話されました。

書籍紹介

「共生と共歓の世界を創る

～グローバルな
社会的連帯経済をめざして～
丸山茂樹 著



社会評論社
2,200円+税

ワーカーズ・コレクティブの「名づけ親」である著者が、社会的連帯経済やワーカーズ・コレクティブの研究を解説し、その運動を広げていくための手引を示した待望の書。

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 情報誌 WAVE64

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋 1-5-3 ひゅうまんポスト2F

電話/FAX 048-844-0221

E-mail saitama.waakore@gmail.com

<http://saitama-workers.com/>

編集制作 ワーカーズ・コレクティブ ピアズねっと

1部 100円